

七夕

亜梨亜

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

ただ2019年の七夕に乗っかりたかった。

目次

七夕

「七夕って色々と理不尽だと思わないか？」

「何が」

「織姫と彦星はただ天の川渡ってイチヤイチャしたいだけじゃん？短冊に願いと書かれても「いや知らんが」って感じじゃないのかなって」

「言われてみれば、まあそうだね」

「お前考えてみるよ、例えば織姫と彦星がドキドキしながらエッチしようとしたとするじゃん？」

「しねーよ」

「電気消して、彦星が織姫の羽衣を脱がせたその瞬間に下界から「彼女欲しい」とか「彼氏欲しいです」とか「インスタグラマーやってます！@なんとかかんとか フォローお願いします♡」みたいな願い事ひっきりなしに聞こえてきたらもうノイローゼになるぜ？新手的プレイかよ」

「お前の脳内何色？ピンク？真っ黒？」

「お願い事プレイ」

「それだけ聞くと互いにして欲しいことを言い合うみたいなプレイに聞こえる」

「そもそもリア充に願いを叶えてもらおうって魂胆がムカつくよな」

「意味がわからない」

「リア充の幸せにあやかろうとしてるのがムカつく」

「お前の沸点どこにあるの？」

「沸点なぞどうの昔に爆発したわ！水蒸気爆発」

「リア充だけじゃなかったんだ、爆発するのって」

「この時期になると駅とかにも笹が飾られるじゃん」

「あー、よく見るね」

「あれ室内に置いてるからそもそも織姫も彦星も願い事見えねえだろ、なんの意味があるの」

「あーゆーのは書くことに意味があるんじゃないの？」

「で、そういう場所は願い事じゃなくてさ。アホなこと書くやつとか宣伝始めるやついるんだよ。さつき言ったインスタグラマーとかな」

「あとは「胸が大きくなりませうよ」とかな」

「あーゆーのムカつくよな。願い事を書けっつってんの」

「お前さつき願ひ事書くやつムカつくつって言っつてなかつた？」

「何が言いたいかつて言うつとやれ七夕だからつてやんややんや騒ぐ奴がムカつく」

「ただの陽キヤに劣等感感じてる陰キヤじゃん、それ」

「二人のイチヤイチャくらい静かにさせてやれつてんだよな。周りが騒ぎ立てるものほどもんどくさいもんじゃないだろ」

「お前織姫と彦星相手にどこ目線で言っつてんだよ」

「てか結論リア充がムカつく」

「織姫と彦星含まれてんじゃねえか。お前七夕向いてないよ」

「……まあ、でも今年の七夕は嫌いじゃないかもな」

「さつきまで文句言いまくつてたくせにどうつ風つ吹き回しだよ」

「だつて、晴れてるじゃん。それこそ風つ吹き回しが良かったんだろうな」

「あー、そうつえば七夕つて基本的に雨降るかめつちや曇るかつ二択だもんね」

「こうつやって綺麗な天つ川つを眺めたりするつのは俺つは割と好きだ。多分、元々七夕つてこうついう楽しみ方するもんだろ？」

「お前、意外とロマンチックだよね」

「星、綺麗だな」

「そうだね」

「……月も綺麗だな」

「……ふざけてるの？」

「俺は一切合切四六時中ふざけていない」

「その言い方がふざけてるつように聞こえる」

「今頃織姫と彦星はイチヤイチャせつせだろつうな」

「ムードぶち壊したね」

「ムカつくから短冊に願い事書いて邪魔してやろうか」

「お前さつきまでムカつくって言ったこと全部やるつもり？役満だよそれ？」

「……………ほら、書いた」

「……………何書いたの、見せてよ」

——お前と付き合えますように。

「笹に結んでくる」

「……………あたし七夕嫌い。お前ほんとムカつく」

「願い事、叶うといいな」

「叶えてやるよ、バカ」